

科目名 健康支援援助論 I 時間割表記名 健康支援援助論 I	配当時期 2年次前期 単位数 1単位 時間数 30時間(16回)	講義担当者 田代久美子 三井由樹子 後藤広行 (実務経験のある教員)	
事前学習内容 事例に用いる疾患については病態生理・治療・看護を事前に学習して臨む。			
授業目標 1. 慢性期にある対象および家族の身体的・精神的・社会的特徴を理解できる。 2. 慢性期にある対象および家族のセルフマネジメント能力を高めるための支援について理解できる。 3. 事例を通して慢性期にある対象および家族への健康支援について理解できる。			
DPとの関連 DP1. 看護の対象である人間を身体的・精神的・社会的・霊的に統合された生活者として理解することができる。 DP2. 一人ひとりの健康状態に応じて、最善の看護を選択し、科学的根拠に基づいた看護を実践できる。			
授業の流れ			
回	学習内容	方法	備考
1	慢性期とは、慢性病患者の理解 中範囲理論の活用 病みの軌跡 【事例】腎不全・透析治療中の患者	講義	テキスト① テキスト②
2	セルフケアの理解 セルフケア獲得に向けた支援 中範囲理論の活用 健康信念モデル	講義	テキスト①
3	セルフケア継続に向けた支援 1. 医療者関係の構築 2. 家族 3. 社会資源 中範囲理論の活用 ストレスとコーピング	講義	テキスト①
4	看護における学習支援 1)学習支援とは 2)看護師の役割としての学習支援 3)学習支援の対象者とそのニーズ	講義 演習	テキスト⑥
5	看護の学習支援技術① 1)個人を対象とした学習支援 2)集団を対象とした学習支援		テキスト⑥
6	看護の学習支援技術② 1)学習支援:指導案 (1)対象に合わせた目標設定	講義 演習	テキスト⑥

	(2)対象に合わせた支援 ①支援内容 ②支援方法 ③媒体の工夫		
7	学習支援の実際	講義 演習 ロールプレイング	テキスト③ テキスト⑥ *10回目 45分
8	【事例】2型糖尿病(成人期)		
9	指導案を使用しての学習支援の実施・評価		
10			
11	外来受診期における看護 1. 外来看護の役割 2. 外来受診期の看護 1)セルフマネジメントに必要な支援 2)患者とのパートナーシップの形成 3. 慢性疾患をもちながら生活する高齢者への看護 1)退院調整と退院支援 2)在宅療養生活への移行における包括的支援と継続看護 3)受診行動の支援	講義	テキスト⑤
12	パーキンソン病患者の看護(老年期)	講義 演習	テキスト④
13	1. 重症度分類に応じた援助(ホーン-ヤール重症度分類)		
14	2. 日常生活動作・事故防止への援助		
15	3. 精神的援助 4. 家族への援助		
16	試験(45分)	試験(筆記)	
受講上の注意 これまで学んだ知識をもとに、事例にて慢性期にある対象の理解を深める。			評価方法 筆記試験 レポート
<p>使用するテキスト</p> <p>①系統看護学講座 専門分野 成人看護学1 成人看護学総論 医学書院</p> <p>②系統看護学講座 専門分野 成人看護学8 腎泌尿器 医学書院</p> <p>③系統看護学講座 専門分野 成人看護学6 内分泌・代謝 医学書院</p> <p>④系統看護学講座 専門分野 成人看護学7 脳・神経 医学書院</p> <p>⑤系統看護学講座 専門分野 地域・在宅看護2 地域・在宅看護の実践</p> <p>⑥系統看護学講座 専門分野 基礎看護学2 基礎看護技術 I 医学書院</p> <p>参考文献</p>			